

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします



菅野勝信さん(比叡)

(質問) 一軒家に避難をしています。一軒家に避難していると、仮設住宅に住んでいる皆さんよりも、得られる情報が少ないのではないかと感じています。

(回答) 隣近所に村の人が住んでいて、村やさまざまな機関が定期的に集会所などを訪問している仮設住宅よりも「情報が少ないな」と感じられることが、借り上げ住宅等に避難されているご家庭にはあるのだと思います。

村からの広報物や、全戸配布の資料・チラシなどは、借り上げ住宅等にももちろん同様に配布させていただいております。また、タブレット端末や、村ホームページなどにも、お知らせしたい情報を随時アップしておりますので、そちらもご活用いただければと思います。

そして住民同士の情報交換の場としては、菅野さんが現在お住まいの地域にも飯館自治会があり、会員の皆さんが仲良く活動されております。ご加入を希望される場合は生活支援対策課生活支援係（飯野出張所 ☎024-562-4249）でもご紹介できますので、ぜひご連絡ください。また、すでにご参加いただいているかも知れませんが、村社会福祉協議会が開いている地区ごとのお茶飲み会や、村が随時開催する住民懇談会などにも、情報交換の機会としてご参加いただければ幸いです。なお今後も情報発信に努めてまいりますので、お気づきのことやご意見などいつでも村までお寄せください。



細川栄美子さん(上飯樋)

(質問) 朝は通勤に合わせ子どもたちを村の小中学校まで自家用車で送っていますが、下校時はスクールバスに乗せてもらっています。今後、仮設住宅から住み替える家庭が増えたりしても、現在のような利用ができるのでしょうか。

(回答) スクールバスについては、第一に「安全」、第二に子どもたちの負担を考慮し、朝の乗車時間が「概ね1時間以内で運行」できるようなルート及び停留所の配置をしています。このため、大幅な変更はできませんが、毎年度、子どもたちの居住地を見ながら運行しております。

下校時についても、朝の経路などを基本に運行しておりますが、特に中学生の部活動後の下校バスは、帰路が日没後となるため、大幅なルート変更にならず安全な場所であれば、お住まいの近くで降車するなど、適宜対応をさせていただいております。

今後、仮設住宅からの住み替えなどが多くなることも考えられます。その都度、ご家庭の事情に添えるよう努めてまいりますので、教育委員会（飯野出張所 ☎024-562-4257※教育課学校教育係）までご相談ください。

※今号 P14 にスクールバス関連記事があります。

「ご協力ありがとうございました」
9月16日・17日
飯館村役場飯野出張所でお聞きしました



「話者/阿部コナミさん(宮内) いたて民話の会発行「飯館むかしばなし」から転載」

「これは女の人は喰ってなんねんだ」って言わちえだけど、美味そうで、奥さんは、旦那が山さ行った時に焼いで喰ってみんだんだ。

そしたら、今度水飲みでぐなって、かめの水飲んで足んにやくて、井戸さ行ったんだ。井戸の水飲み干しても足んにやくて川さ行って、水飲んだ時見たら、水に映った姿は角出でひどい格好になつてんだ。「喰ってなんねって言わちえのに喰ったがこんなになつた」

と思つて堤さ入つちまつたんだ。

狐師は家さ帰つたら嫁が居なくて、水がめの水からっぽだし、「ああ、これは」ど、堤さ行って「おりゅう」と呼んでみんだ。ほしたらひどい格好して居だつて。ほんじゃが、喰ってなんねって言わちえのは喰わねごどだつて教らつちやんだ。



龍になつた嫁

旦那様が狐師だつたんだ。山さ毎日出掛けで、蛇の古いのがな、オガバミっていうの捕つてきて味噌漬けにしておいで酒飲む時に焼いで喰うんだ。脂が出で美味そうなんだ。

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
志賀 杏奈ちゃん	信幸・愛	飯樋町
小林 未来くん	光平・めぐみ	飯樋町
鈴木 愛輝くん	大智・春華	深谷
高橋 由愛ちゃん	秀平・美紀	長泥
高橋 由羽ちゃん	秀平・美紀	長泥
庄司 旭陽くん	容平・己寿恵	関沢
齋藤 真愛ちゃん	寿樹・由利子	大久保・外内
佐藤 乃蒼ちゃん	正・薫	飯樋町
菅野 陸くん	真樹・美穂	蔭平
井上 蓮生斗くん	吉徳・真矢	関沢

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	出身地
石川 聡	比叡
神野 美保	川俣町

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
八巻 テル子	86	草野
原田 長生	72	深谷
渡邊 幸雄	78	小宮
山田 マス子	86	草野
松田 ヒサノ	82	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

草野・飯樋・白石小学校の5・6年生が出場した「福島県小学生リレーカーニバル」。昼休みにバトンパスを練習したり、放課後、東和町のグラウンドに向いたり。何とか子どもたちの意欲を实らせたいと、先生方が苦心して臨んだ大会でもありました。▼「草野小の校庭を仮設小学校に持って来たいよ」と話していたのは、特設陸上部を指導する佐藤俊彦先生。三校の名前の文字を隠し絵のようにデザインした素敵なチームTシャツは、佐藤先生の力作です。▼目指したタイムに届かず悔しかった人も、仲間と力を尽くしたことに満ち足りた笑顔を見せたからこそ分かるその気持が、かけがえない宝物ですね。(星)

編集後記